

Barracuda Message Archiver は E メールアーカイブ専用アプライアンスであり、メールサーバの容量に影響を受けることなく、社内 E メールを含むすべての送受信 Eメールのアーカイブおよび検索機能を提供しています。Barracuda Message Archiver は内部ネットワークの 1 ノードとして IP アドレスをアサインすることで簡単に利用開始できます。

1 まず始めに

本ガイドでは Barracuda Message Archiver のセットアップ方法を解説しており、セットアップ開始前に一読をお薦めします。Barracuda Message Archiver のセットアップ開始にあたり、まずは以下の機器を準備して下さい。

- Barracuda Message Archiver 本体、AC 電源コード、付属イーサネットケーブル
- VGA モニタ(推奨)
- PS2 キーボード(推奨)

2 設置・接続方法

Barracuda Message Archiver を以下の手順で設置・接続して下さい。

1. Barracuda Message Archiver を 19 インチラック、または安定した場所に固定します。
2. ネットワークスイッチに接続されているイーサネットケーブルを Barracuda Message Archiver の背面にあるイーサネットポートに繋がします。
3. 標準 VGA モニタ、PS2 キーボード、AC 電源コードを Barracuda Message Archiver に接続します。注)：本体に AC 電源コードを接続すると同時に数秒間電源がオンとなり、その後オフになります。これは本体が停電時に自動的に電源がオンの状態になるように設計されているためです。
4. 本体のフロントパネルにある電源ボタンをオンにします。

ディスクI/O 電源ランプ 電源ボタン



3 IP アドレスとネットワークの設定

Barracuda Message Archiver に接続されているモニタには初期設定でブートメニューが表示され、処理が完了すると管理コンソールのログインプロンプトが表示されます。次に以下の設定を行なってください。

1. admin login を使用して管理コンソールにログインします。
 1. ログイン: admin
 2. パスワード: admin

```
barracuda login: admin
password:
```

2. 既存のネットワークに最適な IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバを設定します。
3. 設定を保存します。

モニタとキーボードを使用せずに IP アドレスをセットするには、フロントパネルのリセットボタンを下記に従い押し続けて下さい。

IP アドレス	リセットボタンを押し続ける時間
192.168.200.200	5 秒
192.168.1.200	8 秒
10.1.1.200	12 秒

4 ファイアウォールポートの開設

Barracuda Message Archiver をファイアウォールの背後に設置する場合、正しく動作するために以下のポートを開放して下さい。

ポート	方向	TCP	UDP	用途
22	イン/アウト	はい	いいえ	リモート診断とサービス(推奨)*
25	イン/アウト	はい	いいえ	正規 E メールとエラーメッセージ
53	アウト	はい	はい	ドメインネームサービス
80	アウト	はい	いいえ	ウィルス、ポリシー、ドキュメント定義更新ファイル
123	イン/アウト	いいえ	はい	ネットワークタイムプロトコル(NTP)

* テクニカルサポートのリクエスト時にもみポート 22 によるアクセスが必要です。

5 Web インターフェースでの確認と設定

Barracuda Message Archiver と同一のネットワークに接続された PC の Web ブラウザ上で以下のステップに従って下さい。

1. ブラウザのアドレスバーに http://、IP アドレス、デフォルトの Web インターフェース HTTP ポート(:8000)の順に入力します。例えば、Barracuda Message Archiver を 192.168.200.200 で IP アドレスを設定した場合下記のように入力します。
http://192.168.200.200:8000
2. Barracuda Message Archiver の Web インターフェースに管理者としてログインします。
ユーザ名: admin パスワード: admin
3. 基本設定 → IP 設定のページで以下の確認を行います。
 - IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの数値を確認します。
 - プライマリとセカンダリ DNS サーバの数値を確認します。
 - デフォルトホストネームとデフォルトドメインを入力します。この名前はエラーメッセージに使用されます。例えば、デフォルトホストネームを barracuda、<yourdomainname>.com をデフォルトドメインとして入力します。
 - ローカルドメインのセクションには、アーカイブする Eメールのドメインを入力します。各ドメインの入力後に追加をクリックします。
4. すべての変更情報を保存するには変更保存ボタンをクリックします。

6 ファームウェアのアップデート

1. **高度な設定**→**ファームウェア更新**で最新のファームウェア更新情報を確認します。更新情報がない場合は次のステップ 7 に進みます。
2. **ファームウェアダウンロード**をクリックします。続けてダウンロードタイムに同意する **OK** ボタンをクリックします。本体の不具合を防ぐために更新時やダウンロード時は電源をオフにしないで下さい。ダウンロードの進行状況を確認するにはブラウザをリフレッシュします。ダウンロードが終了すると完了通知が表示されます。
3. **高度な設定**→**ファームウェア更新**のページで**今すぐ適用**ボタンをクリックし、ファームウェアのアップデートを確定します。完了までには数分かかります。
4. 再起動のプロンプトが表示されたら **OK** をクリックします。
5. ファームウェアの更新の適用が完了したら Web 画面より再度ログインします。その際、機能拡張や新機能に関するリリースノートを読んで下さい。ファームウェアの更新には新機能が含まれていることがあるため、設定を再確認します。

7 管理者パスワードの変更

- 不正利用を防ぐため、デフォルトの管理者パスワードをセキュリティの高いパスワードへの変更を推奨します。管理者パスワードは Web 画面用のパスワードのみキーボード入力により変更できます。管理者コンソールのパスワードは変更できません。
1. **基本設定**→**管理**で既存および新規のパスワードを入力します。
 2. **パスワード保存**をクリックします。

8 製品の有効化

- 基本設定**→**ステータス**のページで、Barracuda Message Archiver でエネルギー充填サービスが有効になっているか確認して下さい。サービスステータスでエネルギー充填サービスが現在有効であるかを確認し、エネルギー充填サービスのステータスが「有効になっていない」場合、有効化をクリックしてパラクーダネットワークスの製品登録のページで利用契約を完了して下さい。

9 メールサーバにおけるジャーナル機能の設定と有効化

ジャーナル機能を持つメールサーバを使用している場合、正しく設定されているか確認して下さい。メールサーバにジャーナル機能がない場合ステップ 11 にスキップして下さい。

1. **Microsoft® Exchange 2003 を使用する場合:**
エンベロープジャーナル機能を有効にします。「エンベロープジャーナル機能」は追加設定で、特定のメールボックスの保存に標準(E メール本文のみ)のジャーナル機能が利用できるように、Exchange をグローバルレベルで有効にする必要があります。その他のアクティベーション方法やジャーナル機能の詳細については、Microsoft のサポート技術情報や TechNet などのサイトを参照して下さい。

「本文のみ」のジャーナル機能を利用するには:
<http://support.microsoft.com/kb/261173>

「エンベロープ」ジャーナル機能を利用するには:

<http://technet.microsoft.com/en-us/library/aa997541.aspx>

Exchange でのメッセージジャーナル機能のトラブルシューティングは:

<http://support.microsoft.com/kb/843105>

2. **指定ジャーナルアカウントによるジャーナル機能を利用するときの注意点:**
いずれかの標準プロトコル(POP3、IMAP 等)で、ジャーナル E メールアカウントがすべてのジャーナル E メールを受信できるようにし、メールサーバより直接 E メールを復元できるようにして下さい。

10

Barracuda Message Archiver でのジャーナルアカウントの設定

メールサーバでジャーナル機能を有効にした後、アーカイブを開始するために Barracuda Message Archiver にジャーナルアカウント情報を入力して下さい:

1. **基本設定**→**ジャーナルアカウント**を開きます。
2. ジャーナルアカウントの**サーバ名、ユーザ名、パスワード**を入力します。
3. メールサーバとの**通信プロトコル**を選択します。
4. Barracuda Message Archiver にジャーナル E メールが受信された後、メールサーバに同 Eメールのコピーを残すかどうかを**サーバにコピーを残すオプション**から選択します。
5. **追加ボタン**をクリックしてジャーナルアカウントを有効にします。
6. アーカイブするジャーナルアカウントの追加設定は 2 から 5 を繰り返します。

これで設定は完了し、すべての E メールをアーカイブできます。

11

メールサーバがジャーナル機能を持たない場合

ご利用のメールサーバにジャーナル機能が内蔵されていない場合、Barracuda Spam Firewall のようなジャーナル機能を持つアプライアンスをメールサーバの SMTP プロキシとして機能させる必要があります。**Barracuda Spam Firewall** (ファームウェア v3.5 以降)でのジャーナル機能のセットアップ方法:

1. **Barracuda Spam Firewall の高度な設定**→**ジャーナリング機能**を開きます。
2. **送信先メールアドレスフィールド**に次のフォームで SMTP 受信者を入力します:
`username@ip_address_of_Barracuda_Message_Archiver`
例: archive@192.168.2.24
3. **ジャーナルメールバウンスアドレスフィールド**に、Barracuda Message Archiver から送られてくるすべての送信エラー通知を受信する E メールアドレスを入力します。
4. **変更保存**をクリックします。

これで Barracuda Spam Firewall がすべてのジャーナル E メールを直接 Barracuda Message Archiver に送信する設定が完了します。

管理者ガイドなどの詳細ドキュメントは下記を参照して下さい。

<http://www.barracuda.com/documentation>

問い合わせ先と著作権情報

パラクーダネットワークスジャパン株式会社 〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-7-2 スペーシア五反田 202 TEL 03-5436-6235 FAX 03-5436-5128
www.barracuda.co.jp Copyright 2008 © Barracuda Networks, Inc. All rights reserved. 本資料および記載されている製品の使用はライセンスに基づいています。本資料に記載されている情報は予告なく変更される場合があります。Barracuda Message Archiver, Barracuda Spam Firewall は Barracuda Networks, Inc. の商標です。本資料に記載されているその他のすべてのブランドおよび製品名は各所有者の登録商標または商標です。07027-10-07J-0612-0801